

世界の若者 山形奮闘記

～海外出身の山大卒業生～

第7回

(最終回)

素晴らしい国、日本

ミクロン精密株式会社 余 歓



2009年9月に山形に来てから、あっという間にもう7年が経った。来たばかりの頃は言葉も通じず、ドキドキ、ワクワクしたりしながら過ごしていたが、現在は大分落ち着いてきて、私としては日本での生活と仕事に少し慣れてきたと感じている。しかし、少しずつ慣れてきて、感動する時は、来たときと同じように感動するものである。今回のコラムでは、生活上や会社の中で素晴らしいと思うこと、または感じたことを述べさせていただきたいと思う。

生活上一番素晴らしいと感じているのは住みやすさである。どこに行ってもコンビニや自販機、コインランドリーなどの便利な施設があり、普段は特に何も感じないが、急用がある際は本当に助かる。電車の時刻や、お店の営業時間はほとんどネットに公開されているので、自分でちょっと調べて時間通りに行けばほぼ間違いなく電車やお店に入れる。このような便利さがあることでみんなが効率的、かつ楽しく過ごせていると思う。

また、日本は安全、安心な国だと思う。私は物を忘れやすく、財布や携帯電話を何回も落としてしまったが、探しにいくといつも返してもらうことができた。車のドアのロックもたまに忘れてしまうことがあるが、盗難事故に遭ったことは一度もない。これは本当に素晴らしい。

職場でもよく感動することがある。私は2011年11月に、山形市蔵王上野地区に本社があるミクロン精密株式会社に入社した。会社では「ノーIDD活動」が行われている。「IDD」は日本語の「嫌だ」、「だめ」、「できない」の頭文字をアルファベッ

トで表したものである。社員の一人ひとりが後工程やお客さまのどのようなニーズに対しても積極的に受け止め、まずやってみようという前向きな考えで応えている。このように難しい仕事に挑戦することで、日本製品の高付加価値が維持され、社員の皆も成長し、お客さまからも信頼を得ることができるのだと考える。

職場でもう一つすごいと思うのは、社内で5S改善活動が定期的に行われていることである。最初、私はあまり改善活動の効果を実感できず、少し時間の無駄だと思ったが、ある日、他のグループが改善活動で作った共同工具を使ってみた時、使いやすさを感じ、その時にやっと活動の意味が理解できた。よく考えてみると、やはり会社は人間と似ているもので、いくら健康であっても小さい病気はどこかに潜んでおり、改善すべきところがある。したがって、この健康診断のような5S改善活動をすることで会社がより健康になり、より効率が上がるのだと分かった。

日本に来て、自分の目で日本の素晴らしいところを見て、それらに感動させられた。感動するあまり、母国にいる親友に紹介したこともある。これからもたくさんさんの素晴らしいことに感動しながら、学んでいきたいと思う。

余 歓 (ヨ・カン)

中国浙江省出身。

吉林大学卒業後、山形大学大学院理工学研究科
ものづくり技術経営学博士前期課程修了。

2011年11月ミクロン精密株式会社入社。